

## 西岡参考人提出資料

橋長参考人御発表資料	P 1
政田参考人御発表資料	P 2
別紙：就労体験案内シート	P 4
西岡参考人御発表資料	P10

## 参考人(1)発表資料 「就労準備支援等を利用して就労を実現した事例」

## (自己紹介)

- ・参考人(1) 20歳代
- ・妻と長男の3人暮らし
- ・中学卒業後、定時制高校に進学。中退
- ・アルバイトを経て、工場での金属機械加工(2年4か月)、電気工事(2年半)に従事
- ・コロナ禍で仕事が減り退職。住居確保給付金を申請し、市の就労支援を受けた。

## (相談から就職決定迄の経過)

- ・初回面談を受ける。(2021/3/1)
- ・仕事選びの優先順位や、仕事上大切にしてきたこと、得意なこと等を質問される
- ・複数の企業について情報や求人情報の提供を受ける。
- ・ハローワーク求人を活用して、興味のある求人を検索するように言われる。  
⇒求人がたくさんありすぎて、何を選んでよいか分からなかった。
- ・電気計器株式会社へ見学に行く(2021/07/15)
- ・電気計器株式会社で事業所内体験実習(3日間で2業務)を行う(2021/07/26) ※体験内容は別紙参照
- ・応募、採用決定
- ・正社員として入社(2021/09/13)

## 参考人(2)発表資料「豊中市と連携して採用・人材開発する電気計器株式会社」

会社名: 電気計器株式会社  
 住所: 豊中市名神口1丁目2番22号  
 業種: 電気機械器具製造業(変圧器、リアクトル等の製造)  
 社員数: 61名  
 発表者: 参考人(2)

豊中市の無料職業紹介所を活用するきっかけ  
 ○従来の手法だけでは人材確保が極めて厳しかった。  
 ⇒2019年に市のメールマガジンで「仕事と出合おうwithとよなか(\*)」を知り、参加した。  
 <結果>企業見学会10名参加。ミニインターンシップ5名参加。  
 6名が応募。うち2名を採用  
 \* 若年求職者を対象に、企業見学会、応募対策セミナー、ミニインターンシップ、面接会を組み合わせたイベント(毎回、新規企業10社が参加して1か月間実施。事前に、参加企業の仕事や働き方を紹介する情報の作成、見学者への案内方法などが調整・工夫される)

豊中市の無料職業紹介・就労支援の活用実績(2019年以降)  
 ○技能系(製造) 5名(うち2名は上記イベント)  
 ○事務(総務経理) 1名  
 ○清掃(パート) 1名  
 \* 上記のうち離職者は1名。離職理由は家庭の都合。  
 <採用者の状況>  
 ・就労意欲はあるがコミュニケーションが苦手  
 ・自分にあう仕事があるか不安  
 ・生計維持者として、長期的に継続して働ける企業に就職したい  
 ・家族介護のため学校卒業後はアルバイトのみ。要介護者の死去に伴い正社員での就職を希望  
 ・学卒時に就職氷河期で就職できず。アルバイト経験しかない  
 ・就業先の移転により、近隣で経験を生かせる仕事に就きたい  
 ・元職がいわゆるブラック企業で退職を余儀なくされた

市の取り組みで、役に立った点や印象に残っているもの  
 市の取り組みと連携して、採用活動や人材育成等で変化した点

- イベント時だけではなく、求人⇒見学⇒職業体験⇒応募⇒面接⇒採用といった流れで紹介してくれる。また、事前に求職者の特性を把握して紹介してくれる。結果的に次のメリットがある。
  - ・当社にあった求職者を推薦してくれる。
  - ・個人的な事情で職業経験は少ないが、概ね就労意欲が高く真面目な求職者が多い。
  - ・職場体験を通じて求職者の力量や適性を把握できるので、面接に無駄がない。
- また求職者も仕事内容や職場の雰囲気を理解したうえで、応募してもらえるので、採用後も職場に溶け込みやすく、仕事の理解が早く、早期に戦力になっている
- 職員が変化した
  - ・採用後は真面目に取り組んでくれるので、教育する社員が教える難しさを感じながら懸命に指導している。
  - ・採用後、経験を積んで仕事を覚えていく度に自信や成長を実感しているのか、顔つきが明るくなったり、積極的にコミュニケーションをとるようになったりと変化を感じている。
- その他
  - ・特定求職者雇用開発助成金の申請サポートや、コロナ禍においては市独自の緊急雇用支援金の給付などがある。

○今後の採用活動や人材育成で、市や国に期待すること

技術系人材の採用や育成について、何か良い方策や制度があればご教示願います。

## 参考人(2)補足資料「豊中市と連携した採用・人材開発に関する同社の事例」

(同社で就労準備支援を利用したケース概要)

- 学校卒業後、販売、造園、清掃等の業務で離転職を繰り返す。前職からブランクがあり、体力的に自信がない。
- 自分に合っている仕事をみつけ、安定的に働きたい。

(支援経過1)

- 仕事に対する価値観や興味のあるしごとを理解するため「豊中しごと講座(\*)」を受講。
- 介護業界について知るため就労準備支援事業を利用し、介護の仕事体験を行うため実習先を見学するが、コロナ禍で体験できる内容が限定されており、本人ニーズに合わず。
- 本人が身体を動かす体験を希望したことに加え、自身が課題だと感じるコミュニケーションのトレーニングを目的に公園内作業(週2日)に参加。  
⇒作業やメンバーとの関係にも慣れ、気持ち的にも安定。  
⇒フルタイムを意識し、本実習を継続しつつ、他の実習や仕事を追加したいとの希望あり
- ピッキング作業での職場内体験実習を提案するが、自信が無いと辞退。
- フルタイムを意識し、介護事業所での作業、指先や手腕を使う軽作業の実習を追加。稼働日数を週6日(2日終日、4日半日)に増やす。また、希望すれば、企業での事業所内体験実習へのチャレンジも可能であることを提案。  
⇒フルタイムで活動できる自信回復。事業所内体験実習を希望

(支援経過2)

- 電気計器(株)での事業所内体験実習を提案。本人が希望した為、**企業見学後、5日間の体験実習**に参加。※体験内容は別紙参照  
⇒企業から高い評価を得る
- 本人が応募を希望したことから、同社への応募を決定
- 面接対策。履歴書作成支援
- 面接同行
- 採用決定
- 定着支援(1か月後)
- 豊中市緊急雇用支援金支給  
○**特定求職者雇用開発助成金(生活困窮者)申請支援**

(\*)豊中しごと講座

業界や職種理解を深め、職業選択を行うための連続講座。令和2年度実施。適性検査による適性把握に加え、仕事の映像を観たり、そこで働く人の声を聴くことで、具体的な仕事のイメージを得る。

## 1. 企業概要シート

## 電気計器株式会社

【製造業】

## 船舶や産業機械のモーターに欠かせない技術を持つ会社



## ◆企業情報

船舶や産業機械の大型モーター始動に使用する変圧器等を製造

一般に大型機械のモーターを始動する際は、電圧や電流を抑制するために専用の変圧器が必要です。同社は主に船舶や工場設備のモーターの始動に使われる変圧器等を製造しています。特に始動用リクアトル（電圧抑制）、始動用トランス（電流抑制）の技術は高い評価を得ています。同社は1930年に創業された歴史ある会社で、人と技術の継承を積み重ねてきました。職員さんの平均年齢は40代前半で、若手職員の育成に力を入れています。

## ◆見学や体験時に着目してほしい点・体験できる内容

## 【見学内容】コイル及び変圧器等の製造現場

（着目点）コイルの巻線作業、変圧器等の組立作業の工程。

## 【体験内容】コイル及び変圧器等の製造作業

（着目点）作業手順や丁寧な仕上げ、職員さんの体の動きや手腕の使い方。

【その他】工場では製品の移動に常時クレーンを使いますので、安全に注意して下さい。

## ◆おすすめポイント

体験実習から採用された方が活躍しています

当社では、これまで体験実習を経て採用された方が職場で活躍しています。製造業の仕事の経験がなくても社内で育成をしています。体験実習は本社工場の巻線課及び組立課で行います。コイルの巻線や変圧器等の組み立てという主要な作業現場を体験することができます。



◆企業データ

設立 1930年  
 事業内容 変圧器等の電気機器の設計、製作

従業員数 68人  
 所在地 〒561-0841  
 大阪府豊中市名神口1-2-22

アクセス 阪急宝塚線「服部天神」駅 徒歩25分



◆職員さんの勤務体系・1日のスケジュール

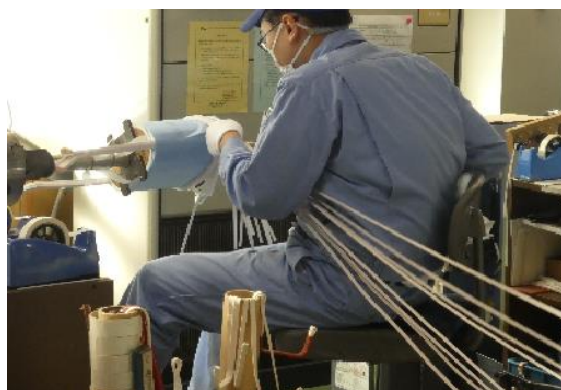
8時30分～	始業・朝礼 □
8時40分～	絶縁紙裁断作業
10時～	巻線作業
12時～	お昼休憩(45分)
12時45分～	巻線作業
15時～	コイルテーピング
17時15分～	終業

\*巻線課の場合の例です。

～巻線課の様子～



～巻線作業の様子～



～組立課の様子～



～製品組立の様子～



2. 事業所内体験シート

【窓口説明資料】

電気計器株式会社（巻線課）

◆体験実習での1日の流れ

巻線作業（1日コース）		巻線作業（半日コース）	
8時30分～	始業・朝礼 ☑	8時30分～	朝礼・始業
8時40分～	絶縁紙裁断作業	8時40分～	絶縁紙裁断作業
11時～	巻替作業	11時～	巻替作業
12時～	お昼休憩（45分）	11時50分～	振り返りシート記入
12時45分～	コイルテーピング		
15時～	電線被覆剥し		※曜日・時間の調整は可能です。
15時50分～	振り返りシート記入		※作業工程は目安です。

◆体験実習の内容

体験実習では、変圧器等に使用するコイル製作の準備と付帯作業を行います。コイルは巻線機を使用して電線をらせん状に巻いて製作します。体験実習では、絶縁紙の裁断、巻線後のコイルテーピング、電線のドラム巻替、また未使用の電線の被覆はがし作業などを行います。この体験実習では、手作業を器用にこなすことや、集中力を持続することなどの適性を確認することができます。

① 【絶縁紙裁断作業】

コイルの作成に使用する各種の絶縁紙を指定の寸法に裁断します。裁断機を使い手作業で裁断します。絶縁紙を固定しながら裁断しますが、自分の指は常に裁断箇所より内側において事故を防止しましょう。体験実習での最初は作業はこの裁断になります。

<特徴>	
○モクモク度	★★★★
○マイペース	★★
○単純反復度	★★★★
○手腕の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○丁寧さ	✓
○集中力	✓
○作業の正確性	✓
○手腕器用度	✓



② 【コイルテーピング作業】

巻線を完了したコイルに化粧テーピングを行います。コイルの銅線が見えないようにテープで覆います。コイルは縦横にテーピングしますが、最初は簡易な横巻を練習します。見栄えも整えながら、むらなくテーピングするよう心がけましょう。

<特徴>	
○モクモク度	★★★★
○マイペース	★★
○単純反復度	★★
○手先の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○丁寧さ	✓
○集中力	✓
○作業の正確性	✓
○手先器用度	✓



③ 【電線の巻替作業】

巻線機を使い大きなドラムから小さなドラムに電線を巻き替えます。太い電線などはかなりの重量になりますので、電線を小分けする作業です。巻替機の操作は巻線課の作業の基本ですので、職員さんの説明をよく聞きながら作業をしていきましょう。

<特徴>	
○モクモク度	★★★★
○マイペース	★★
○単純反復度	★★
○手腕の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○作業の正確性	✓
○集中力	✓
○力仕事	✓
○手腕器用度	✓



④ 【電線の被覆はがし作業】

コイルの作成に使用しなかった電線の絶縁紙をはがし、銅線のみを露出させます。手作業での除去になります。余った銅線は売却されますので、丁寧に作業をしていきましょう。

<特徴>	
○モクモク度	★★★★
○マイペース	★★
○単純反復度	★★
○手先の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○丁寧さ	✓
○集中力	✓
○手先器用度	✓





2. 事業所内体験シート

【窓口説明資料】

電気計器株式会社（組立課）

◆体験実習での1日の流れ

組立作業（1日コース）		組立作業（半日コース）	
8時30分～	始業・朝礼 ☑	8時30分～	朝礼・始業
8時40分～	組立作業	8時40分～	組立作業
12時～	お昼休憩（45分）	11時50分～	振り返りシート記入
12時45分～	塗装作業	※曜日・時間の調整は可能です。 ※作業工程は目安です。	
15時～	寸法確認・ラベル等貼付作業		
15時50分～	振り返りシート記入		

◆体験実習の内容

体験実習では変圧器等の組立作業を行います。組立課での体験実習は基本的に職員さんと一緒に作業を行います。作業内容は変圧器等の組立作業、コイルなどの塗装作業、組立後の寸法確認とラベル等貼付け作業です。実際の製造工程に携わりますので、作業ごとの適性を具体的に確認することができます。

① 【組立作業】

担当職員さんと一緒に変圧器等の組立作業を行います。円形の鉄芯を円柱状に組み立て、コイルに鉄芯を挿入していきます。コイル挿入後に上下にクランプ(鉄板)を取り付け、ボルトで締め付け固定します。鉄芯や素材の組み合わせで変圧器等の機能も変わります。職員さんに手本を見せてもらいながら一緒に作業をしていきましょう。

<特徴>	
○共同作業度	★★★★
○マイペース	★★
○複雑度	★★
○手腕の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○作業の正確性	✓
○集中力	✓
○共同作業	✓
○手腕器用度	✓



② 【塗装作業】

コイル等にニス塗る作業を行います。コイルをワニスのタンクに漬けてを侵させた後に、ニスタレを除去してから赤ニス塗布します。クランプ(鉄板)にも黒ニス塗布します。コイルをタンクに漬ける作業はクレーンで行います。ニスの臭いがしますので、体質や体調も考慮しながら作業にあたりましょう。

<特徴>	
○共同作業度	★★★★
○マイペース	★★
○複雑度	★★
○手腕の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○作業の正確性	✓
○集中力	✓
○共同作業	✓
○手腕器用度	✓



③ 【寸法確認とラベル等貼付け作業】

変圧器等の組立仕上げ後に寸法確認を行います。コイル及びクランプ(鉄板)部分の清掃を行い、ラベルや銘板を貼り付けます。その後、ハンドリフトに乗せて検査場に移動させます。職員の作業手順や体の動きをよく見ながら正確な作業を心がけましょう。

<特徴>	
○共同作業度	★★★★
○マイペース	★★
○複雑度	★★
○手腕の器用さ	★★
○対物度	★★★★
○定型度	★★★★

<確認できること>	
○作業の正確性	✓
○集中力	✓
○共同作業	✓
○手腕器用度	✓



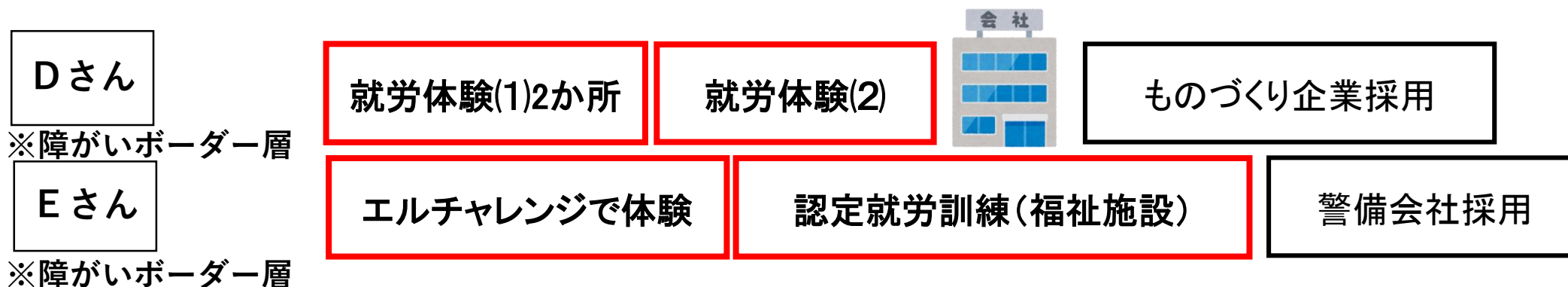
参考人(3)発表資料「就労準備支援等を利用した支援の好事例から」

# 就労準備支援や就労訓練等を利用した支援について ～「企業との関係づくり」に注目して～

# 就労準備支援等(見学や体験等)を利用した支援に関する発言要旨

- (1) 就労準備支援等で利用する**仕事情報** 「求人」情報は✖、「体験等」情報が○  
仕事情報として、いわゆる求人情報(市場求人)が一般的ですが、市場求人は採用等の<条件>情報が中心で、就労の相談支援には馴染みません。就労支援では<仕事の内容>や<働き方(職場環境等)>を中心とした**仕事情報**を利用して、見学や就労体験等の就労準備支援、就労訓練が案内され、実施されます。
- (2) 体験等の仕事情報づくりは、**支援機関と企業の共同作業**  
求人情報を集めるだけでは、就労支援の拡充にはつながりません。就労準備段階では「相談者が自己の関心、価値観、能力、適性等を理解する」「具体的な仕事に対応するスキル等の程度を理解する」ためには<求人>とは異なる**仕事情報**が工夫されてきました。それは支援機関と企業の共同作業で作られます。
- (3) **相談者も企業も、求人情報をベースにした活動が刷り込まれています**  
就労準備支援等を利用した求職活動、就労支援と連携した企業の採用活動はまだ一般的ではありません。「就労支援」と聞いて、相談者も企業も、**求人をベースにした従来の活動だと勘違い**します。就労支援は、見学や体験等のプログラムを利用した、<仕事の内容><働き方(職場環境等)>をめぐる自己理解や職業理解を進めることができる求職(準備)活動の支援です。そして、企業にとっては新しい採用活動の勧めと支援です。
- (4) 相談の第一線で、新しい仕事情報を利用した支援はうまく伝えるには…?  
就労準備支援や就労訓練等を利用した**サポートの意味や必要性が、相談者に伝えることが重要**です。**就労支援＝就職支援だと思いついていませんか?** 見学や体験、就労訓練は、相談者にあつた<仕事の内容><働き方>の理解を促進する**啓発的経験の提供**という役割があります。体験等々の仕事情報が、就労支援員や求人開拓員の**経験知・暗黙知**になっていませんか?

# 1 就労準備支援等(見学や体験等)を利用した支援



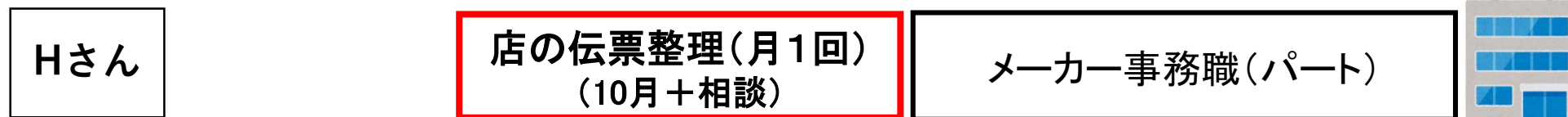
## 1-2 就労準備支援等(見学や体験等)を利用した支援



※男性(20代)。新卒就職で早期離職。合宿型支援利用等



※単身女性(50代)。メンタルダウンで離職、転職活動に行き詰る



※単身女性(20代)。病院勤務(3年)でメンタルダウン。

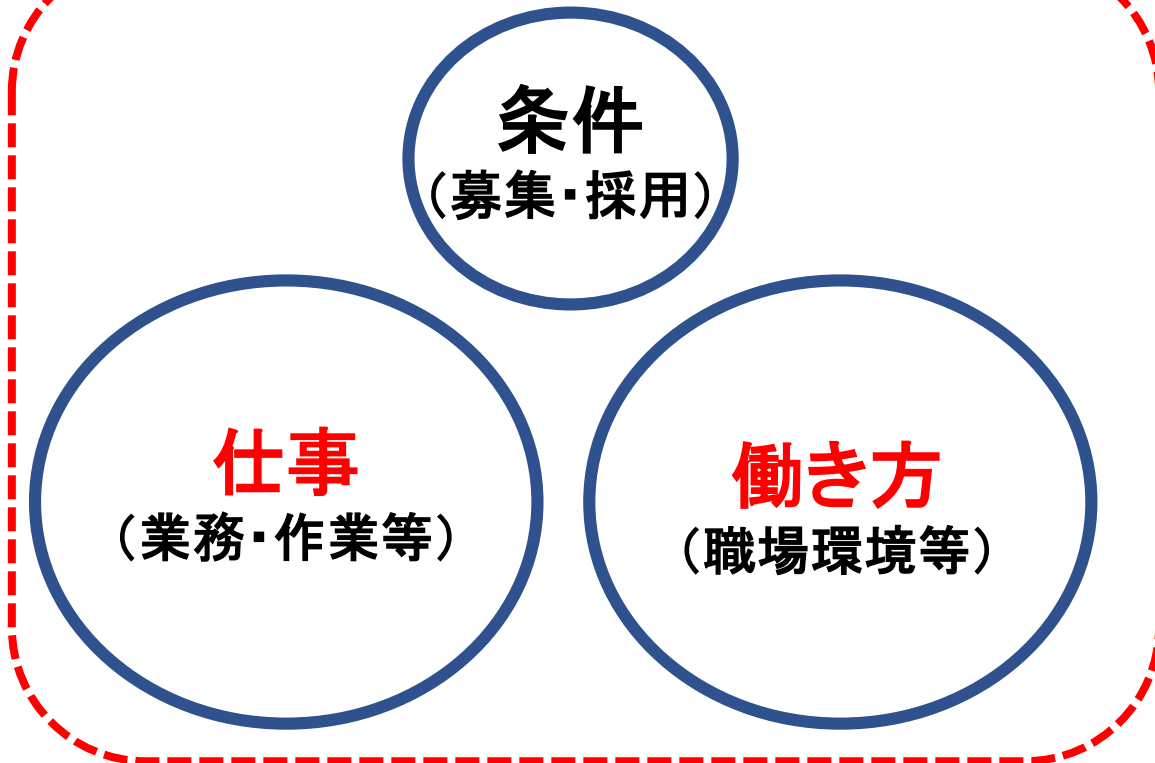


※家族同居・男性(20代)。中高不登校、高卒後9年間ひきこもり

※**就労体験(1)**=自己理解・職業理解を重視。**就労体験(2)**=採用の可能性あり(潜在求人含め)。就労準備・就労訓練を通じた相談者にあった仕事(求人)をつくる取組み

## 2 相談者(求職者)も企業も「頼りにしている」一般的「求人情報」(右側)

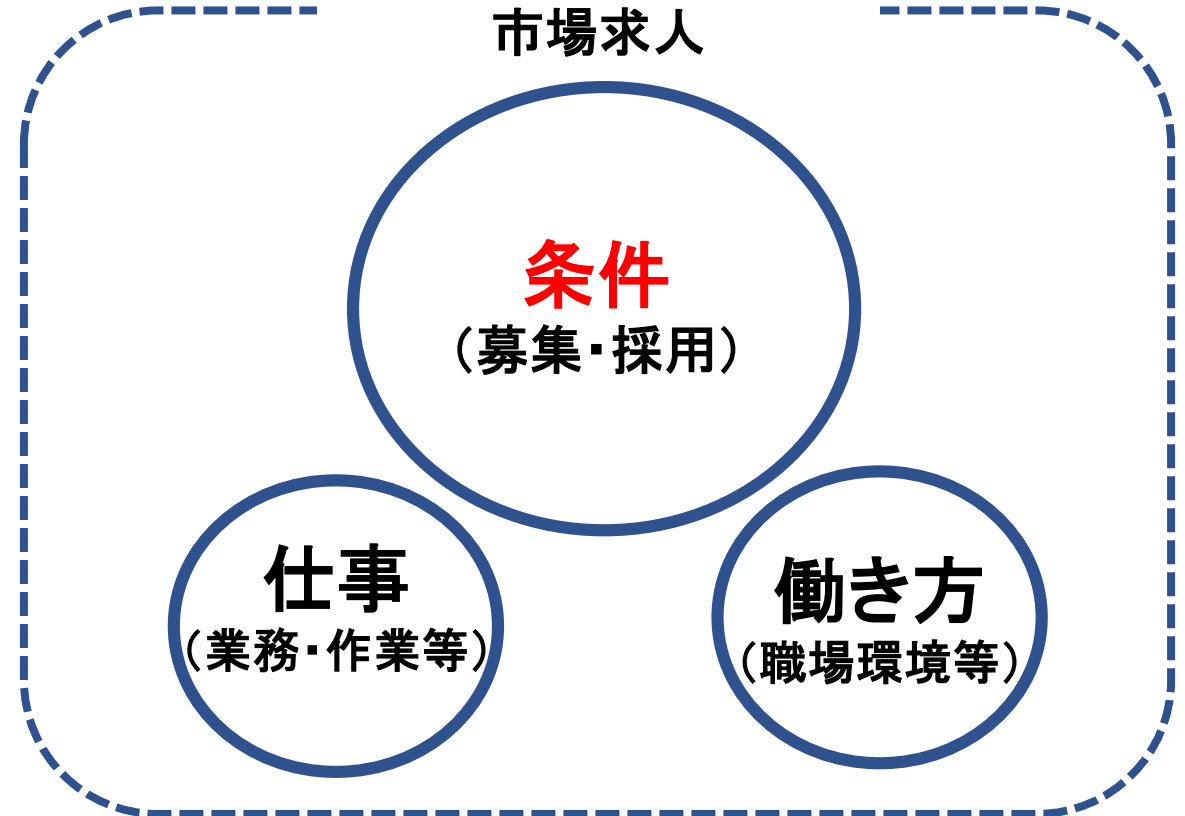
企業と連携した要支援者に対応した仕事情報



(1)就労支援で利用する見学や就労体験、短期雇用等のプログラムは、「働く場の情報」、特に業務や作業の内容・特徴、職場環境等の働き方の情報が中心です。

(2)相談者の興味や関心(ストレングス)をもとに、「働く場の情報」リストの中から、候補となる仕事を抽出。相談者が見学や体験等を通して、求められるスキルや身体能力、あるいは生活習慣等を調整しながら、就労への自己理解を深めます。

一般的な仕事情報＝  
市場求人

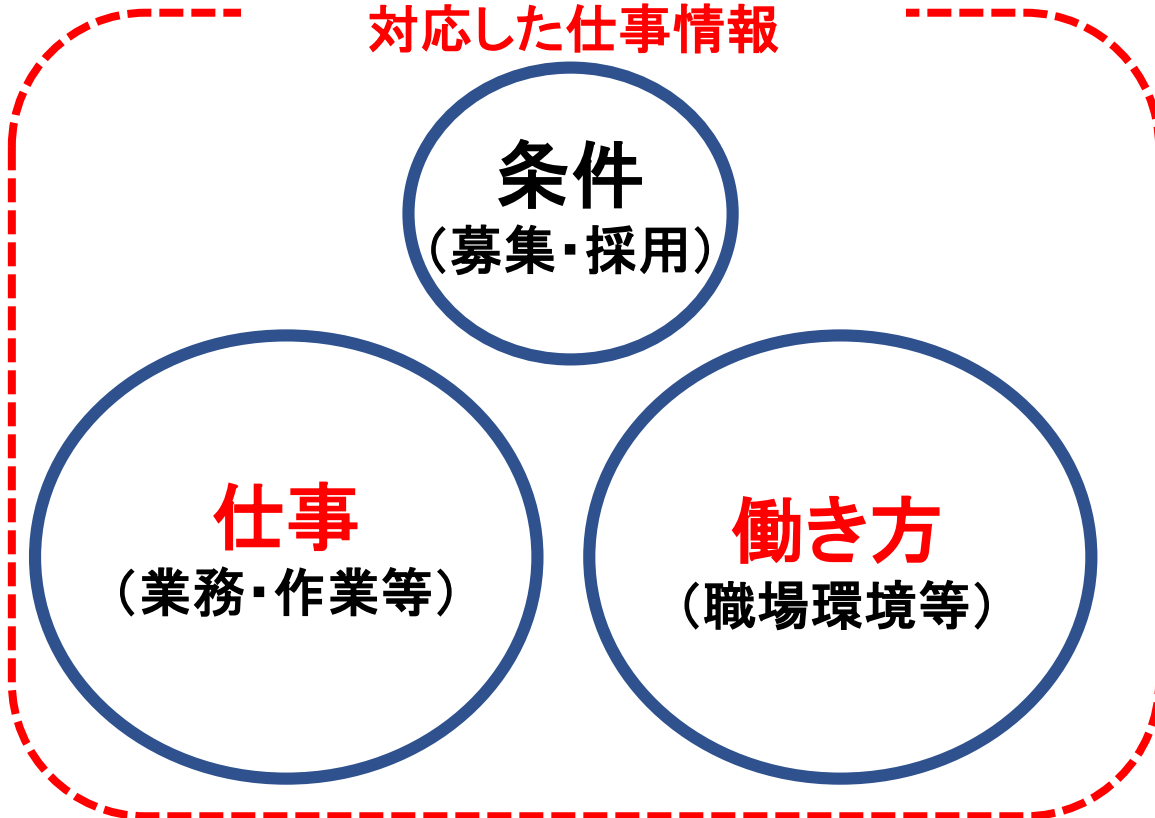


(1)＜仕事＞や＜働き方＞の情報と、それを利用した自己理解職業理解の促進等の機会は少ない。定型化した＜条件＞中心の求人情報で構成され、頼らざるを得ません。

(2)業種と＜条件＞の仕事情報から、相談者にふさわしい仕事(求人)を選ぶには、属性等によるステロタイプなマッチング支援にならざるを得ません。その結果、＜仕事＞＜働き方＞の調整は採用後の自助努力に持ち越されます。

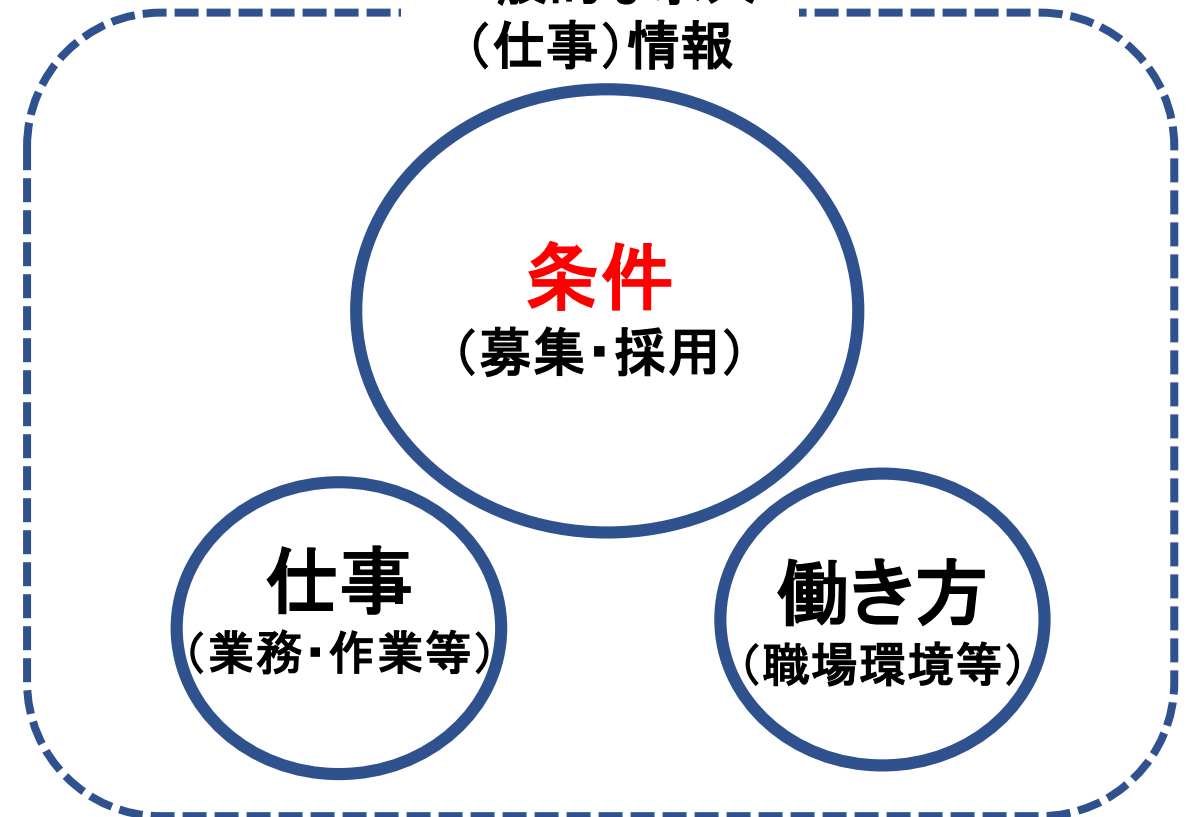
## 2-2 就労支援が重視する仕事(求人)情報(左側)

企業と連携した要支援者に対応した仕事情報



- (1)見学や体験、短期雇用等を媒介にして、相談者個々の<仕事・働き方>の自己理解が調整、促進される
  - (2)<仕事・働き方>をめぐる企業との調整・交渉を通じて、潜在的な求人が顕在化し、マッチングに至る可能もある
  - (3)「働く場を利用した」調整・交渉が仕組み化された企業が、協力企業や認定就労訓練事業所となる
- ※<条件>は採用時に調整され、「求人受理+紹介」手続きへ

一般的な求人(仕事)情報



- (1)定型化した<条件>中心の求人情報と、「履歴書と面接」を媒介した就職(採用)手続き(システム)。⇒「状況依存的なリスク」が高い ⇒ 早期離職の多さ、離職率の高さ
- (2)<仕事・働き方>の情報は、面接時あるいは就労後の現場で調整されるため、相互理解の不十分さは構造的な問題
- (3)国の対策は求職者の雇用力の向上支援が主。就労支援と企業等との連携対策は少ない



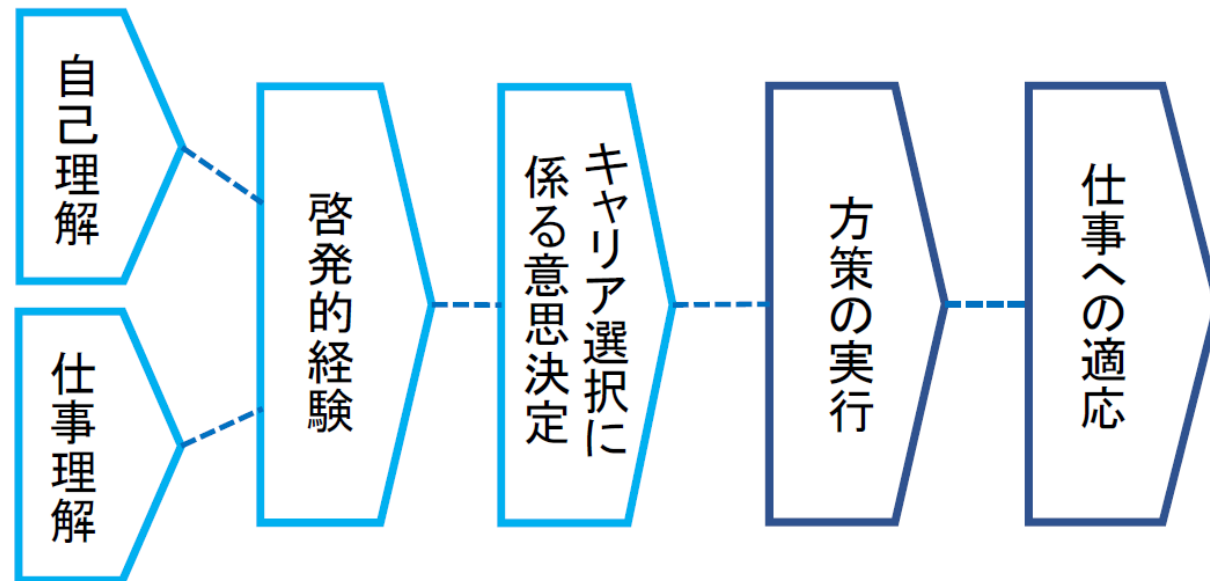
### 3 就職支援と就労支援の違い ～就労支援が登場した理由～

就労支援	就職支援
<p>相談者がめざす就労やキャリアの目標、求人条件より仕事内容や働き方を中心に自己理解・職業理解の促進を重視。相談から就労準備段階の支援、中間的就労の活用、無料職業紹介の活用、定着(転職)支援等といった一連の個別支援からなる</p>	<p>相談＝求人(条件)の案内・選択支援が中心。ほかに適性診断や面接対策、履歴書作成支援などを含む場合もある。基本は求人情報(条件中心)の案内による「自助努力型(孤独・孤立を伴う)」就職活動の支援</p>
<p>(1) <b>就労相談の重視</b>: 相談者がめざす職業生活(キャリア)の整理と自己理解の促進。健康や生活、家族等の包括的相談が可能</p>	<p>(1) 求人情報の案内と選択を中心とした相談・助言 相談者(求職者)が不安＝「状況依存的」リスクへの対策は間接的で限られている</p>
<p>(2) <b>キャリアステップにあった適切な相談支援</b>: キャリアステップに合わせて、就労準備支援や中間的就労、教育訓練の活用、定着支援などの適切な支援を提供する</p>	<p>(2) 求人情報を基準に、<b>求職活動の実行可能性や属性等による採用可能性を重視</b>する。交渉(面接等)は、求職者(相談者)に任せられ、交渉プロセスには関与しない。</p>
<p>(3) <b>「状況依存的」リスクへの対応を重視</b>: 上記(1)(2)を踏まえ、仕事(求人)の開発や、仕事と働き方の調整(求人のアレンジ)、職場環境整備等による就労継続(定着)を支援</p>	<p>(3) <b>継続した支援</b>: 求人の案内・選択に限定した相談に止まる。個別事情に対応した<b>ケア的なフォローアップ支援は少なく</b>、求人者(事業所)に介入・調整することはない</p>
<p>(4) <b>インクルーシブな協力(登録)事業所づくり</b>: 中間的就労等で連携する協力事業所、無料職業紹介所の登録(求人受付)事業所の<b>開拓と組織化を行う</b></p>	<p>(4) 有料職業紹介所の場合、相談者の利益に比べて、<b>クライアント＝求人者の利益を重視</b>するため、求人者のアレンジや職場環境整備等に関与することは少ない</p>

## 4 就労準備支援とキャリア形成支援

個人のキャリア形成は、6つのステップ(下図)で構成されるといいます。

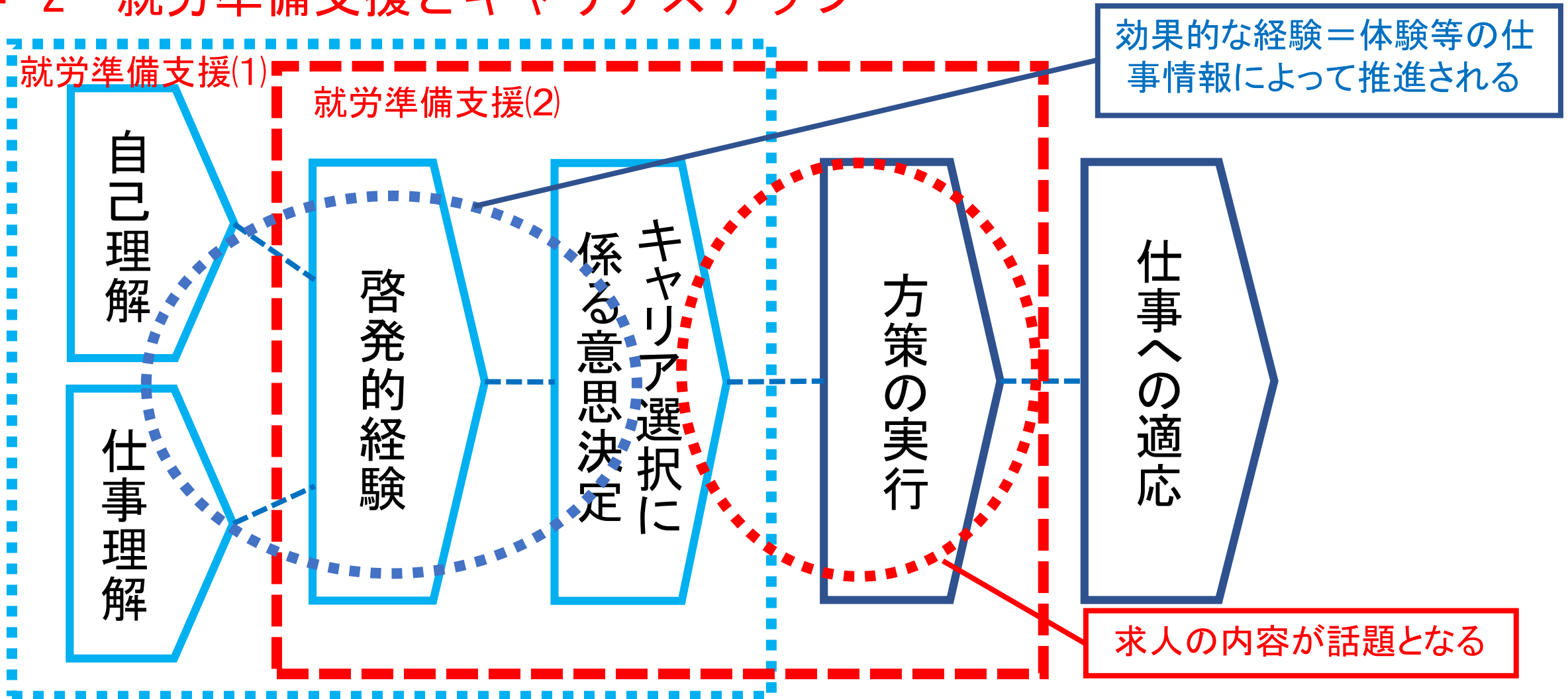
- (1) **自己理解**:進路や職業・職務、キャリア形成に関して「自分自身」を理解する
- (2) **仕事理解**:進路や職業・職務、キャリア・ルートの種類と内容を理解する
- (3) **啓発的経験**:選択や意思決定の前に、体験してみる
- (4) **キャリア選択に係る意思決定**:相談の過程を経て、(選択肢の中から)選択する
- (5) **方策の実行**:仕事、就職、進学、キャリアルートの選択、能力開発の方向等、意思決定したことを実行
- (6) **仕事への適応**:それまでの相談を評価し、新しい職務等への適応を行う



※ 「就職支援等の現場で活用される**マッチング理論**や情緒的な問題にフォーカスする**カウンセリング**だけでなく、それらを**包含したキャリアコンサルティング**(技法)が求められています」(同報告)

厚生労働省「労働者等のキャリア形成における課題に応じたキャリアコンサルティング技法の開発に関する調査研究」から

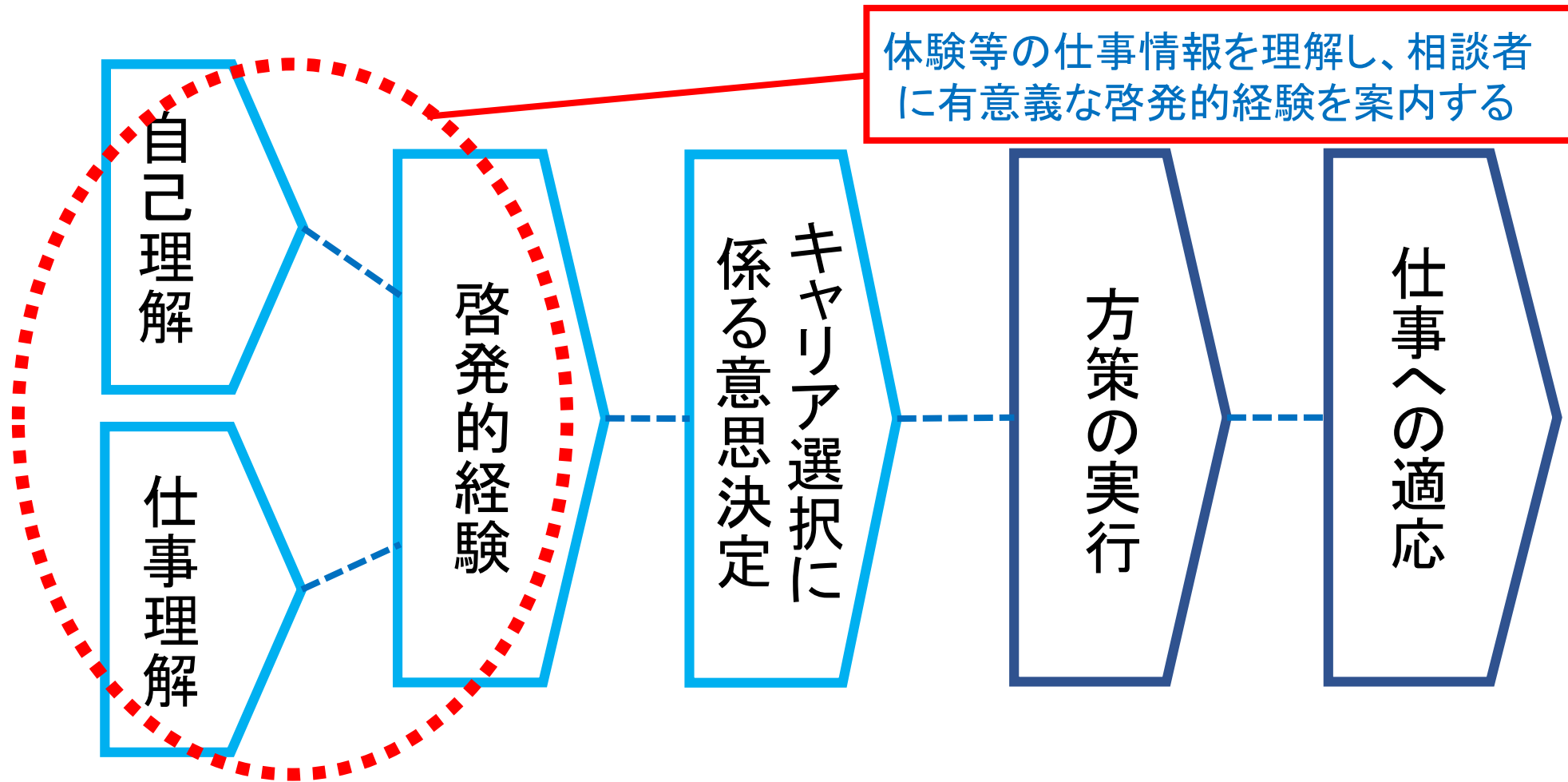
## 4-2 就労準備支援とキャリアステップ



※ 就労準備支援(1) 就労体験等の仕事情報（支援プログラム）によって、啓発的体験に進む。この段階の情報は、仕事・職業を選ぶというより、希望や価値観、強みや苦手などの確認する項目に対応した作業等を選ぶことが重要。

※ 就労準備支援(2)は、求職の準備として、仕事・職業を選ぶ段階。求人（潜在的含む）との組合せ

## 4-3 就労準備支援等の意味や必要性を伝える一次相談窓口の役割

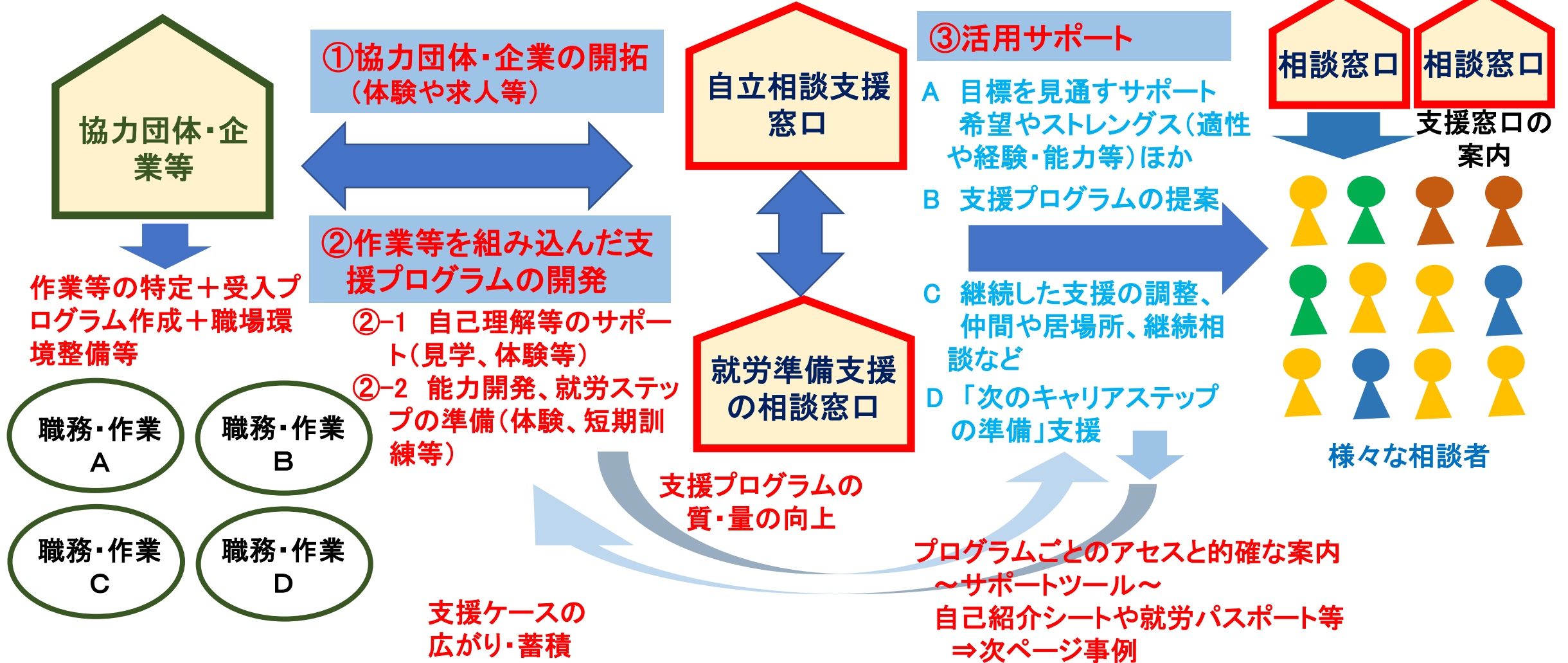


※ キャリアステップ（次ページ）によって、利用する支援プログラムの内容のほか、目的や目標、個別の条件設定等が異なります。

※ 自己理解・職業理解を進めるの相談ツールとして、適性検査（GATB、キャリアアンカー等）が有効

# 5 体験等の仕事情報(支援プログラム)づくりと利用促進の課題

就労準備支援には、実施主体別に①自前のプログラムと、②協力する団体や企業と連携するプログラム。ステップ別に、①自己理解～目標選択のプログラムと、②ステップの選択と実現行動のプログラムがある。また、相談の段階でプログラムの目標や効果を踏まえた利用(ケース)マネジメントのサポートが欠かせない



# 6 体験等の仕事情報(支援プログラム)の事例

※詳細は参考人(2)の別紙資料参照

豊中市無料職業紹介所

豊中市無料職業紹介所

1. 企業概要シート

電気計器株式会社

【製造業】

船舶や産業機械のモーターに欠かせない技術を持つ会社



### ◆企業情報

#### 船舶や産業機械の大型モーター始動に使用する変圧器等を製造

一般に大型機械のモーターを始動する際は、電圧や電流を抑制するために専用の変圧器が必要です。同社は主に船舶や工場設備のモーターの始動に使われる変圧器等を製造しています。特に始動用リクアトル(電圧抑制)、始動用トランス(電流抑制)の技術は高い評価を得ています。同社は1930年に創業された歴史ある会社で、人と技術の継承を積み重ねてきました。職員の平均年齢は40代前半で、若手職員の育成に力を入れています。

#### ◆見学や体験時に着目してほしい点・体験できる内容

【見学内容】コイル及び変圧器等の製造現場

(着目点)コイルの巻線作業、変圧器等の組立作業の工程。

【体験内容】コイル及び変圧器等の製造作業

(着目点)作業手順や丁寧な仕上げ、職員の体の動きや手先の使い方。

【その他】工場では製品の移動に常時クレーンを使用しますので、安全に注意して下さい。

### ◆おすすめポイント

#### 体験実習から採用された方が活躍しています

当社では、これまで体験実習を経て採用された方が職場で活躍しています。製造業の仕事の経験がなくても社内で育成をしています。体験実習は本社工場の巻線課及び組立課で行います。コイルの巻線や変圧器等の組み立てという主要な作業現場を体験することができます。



2. 事業所内体験シート

電気計器株式会社(巻線課)

【窓口説明資料】

### ◆体験実習での1日の流れ

巻線作業(1日コース)		巻線作業(半日コース)	
8時30分～	始業・朝礼 ☑	8時30分～	朝礼・始業
8時40分～	絶縁紙裁断作業	8時40分～	絶縁紙裁断作業
11時～	巻替作業	11時～	巻替作業
12時～	お昼休憩(45分)	11時50分～	振り返りシート記入
12時45分～	コイルテーピング		
15時～	電線被覆剥し		
15時50分～	振り返りシート記入		

※曜日・時間の調整は可能です。  
※作業工程は目安です。

### ◆体験実習の内容

体験実習では、変圧器等に使用するコイル製作の準備と付帯作業を行います。コイルは巻線機を使用して電線をらせん状に巻いて製作します。体験実習では、絶縁紙の裁断、巻線後のコイルテーピング、電線のドラム巻替、また未使用の電線の被覆はがし作業などを行います。この体験実習では、手作業を器用にこなすことや、集中力を持続することなどの適性を確認することができます。

#### ①【絶縁紙裁断作業】

コイルの作成に使用する各種の絶縁紙を指定の寸法に裁断します。裁断機を使い手作業で裁断します。絶縁紙を固定しながら裁断しますが、自分の指は常に裁断箇所より内側において事故を防止しましょう。体験実習での最初作業はこの裁断になります。

<特徴>	
○モクモク度	★★★
○マイペース	★★
○単純皮復度	★★★
○手先の器用さ	★★
○対物度	★★★
○定制度	★★★

<確認できること>	
○丁寧さ	✓
○集中力	✓
○作業の正確性	✓
○手先の器用度	✓



## 6-2 相談者の希望、強み等を現場に伝える ～体験のための自己紹介シート～

支援プログラムの効果は「状況依存的」です。プログラムで何を獲得したいか、思いや希望を団体や企業、職場の皆さんに事前に伝えることができると、「状況のリスク」を減らすことができます。

相談支援員等は相談者と話し合い、「体験のための自己紹介シート」(右図)といったものを作成し、プログラム実施者に情報提供することがあります。もちろん、相談者本人も、体験の現場での行動やコミュニケーションに活かします。一緒に従事する職場のスタッフも、シートの内容が会話のヒントになり、ナチュラルサポートの醸成につながります。

### 就労体験のための自己紹介書(イメージ)

自己肯定感が低い相談者が多いため、目標やセールスポイントを見つけることが苦手で、自身で言葉にできない人も少なくありません。そこで、ツール等を使って話し合いながら作りましょう

就労体験の目標		
特性	セールスポイント	<input type="checkbox"/> 作業面 <input type="checkbox"/> 対人面 <input type="checkbox"/> 考え方・行動の特徴
	苦手なこと	<input type="checkbox"/> 作業面 <input type="checkbox"/> 対人面 <input type="checkbox"/> 考え方・行動の特徴
体調面		
理解や配慮をしてほしいこと		

(相談者) \_\_\_\_\_ (支援者)

# 7 「働く場(新しい仕事情報)を利用した支援」の展開 ～模索期～

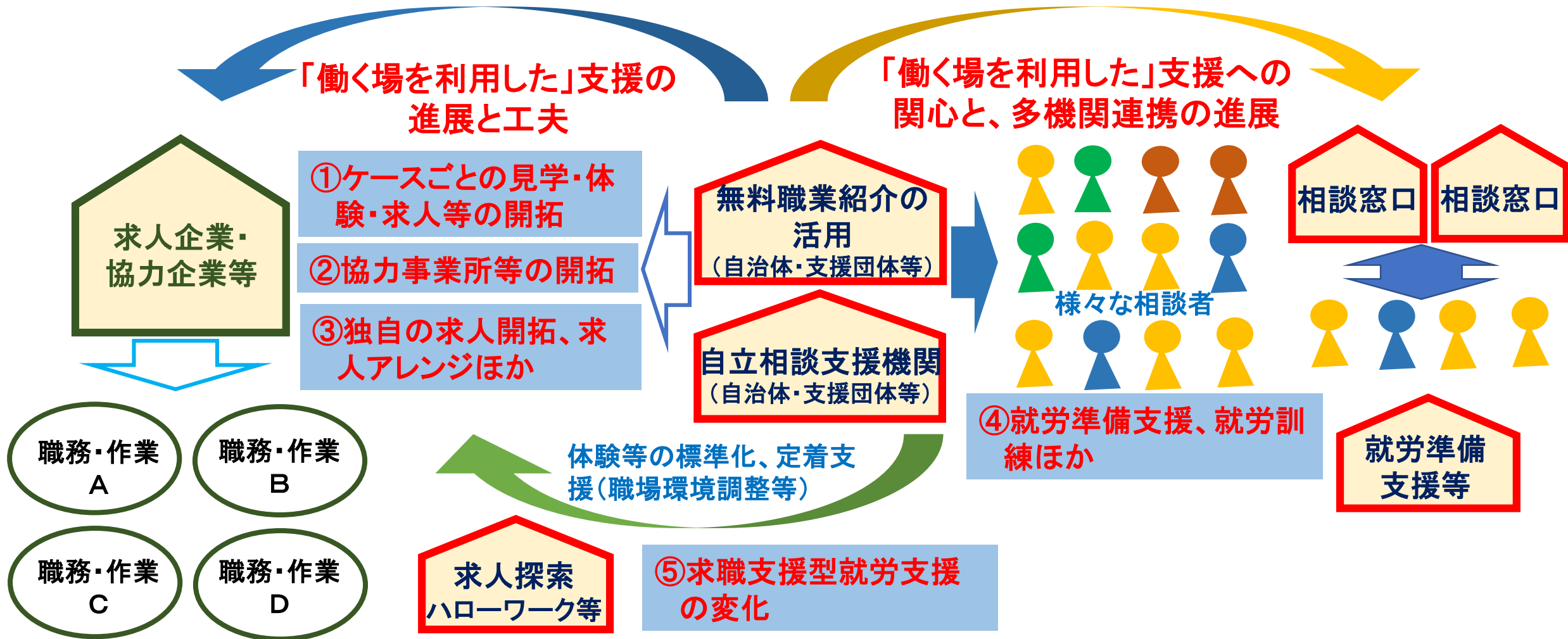
従来の就職支援型就労支援の特徴は<個別支援完結型><市場求人ベース>。その改善策として「働く場を利用した」就労準備支援や就労訓練等が登場した。しかし「働く場を利用」支援と「市場求人ベース」支援が併存状態…





## 7-2 「働く場(新しい仕事情報)を利用した支援」と無料職業紹介～展開期～

中間的就労を利用した支援、「無料職業紹介の活用(個別支援)」が進み、従来の制度別(分野別)支援では後景にあった「企業等との関係づくり(出口プログラムづくり)」が実践課題として浮上。「無料職業紹介の活用」の転機も…



# 7-3 「働く場(新しい仕事情報)を利用した支援」と2つのプラットフォーム

「無料職業紹介の活用」は、インクルーシブな企業支援の窓口となる「無料職業紹介所の運営」へ

